



令和5年8月10日

各位

会社名 株式会社ファルコホールディングス
代表者名 代表取締役社長執行役員 安田 忠史
(コード番号：4671 東証プライム)
問合せ先 執行役員経営企画室長 黒田 修平
(TEL.06-7632-6150)

(訂正)「スタンダード市場への選択申請の決定に関するお知らせ」の一部訂正について

本日開示した「スタンダード市場への選択申請の決定に関するお知らせ」の内容に関して、一部訂正がございましたので、下記のとおりお知らせいたします。なお、訂正箇所には下線を付しております。

記

1. 訂正の理由

「スタンダード市場への選択申請の決定に関するお知らせ」の記載の一部に誤りがあったため、当該箇所の訂正を行うものであります。

2. 訂正の内容

(訂正前)

2. スタンダード市場の選択理由

(1) プライム市場上場維持基準に抵触するリスク

①流通株式時価総額

当社は令和3年4月の東京証券取引所の市場区分の見直しにあたり、プライム市場を選択いたしました。その後、令和4年3月には株式会社ビー・エム・エル（以下、「BML社」という。）と資本業務提携契約を締結して、同社を処分先として自己株式700,000株を第三者割当により処分するなど、同社との資本業務提携関係の強化に取り組んでおります。また、本日公表いたしました「自己株式の取得に係る事項の決定に関するお知らせ」に記載のとおり、当社は株主還元の方針に基づき、より一層の株主還元を図るとともに、資本効率の向上、今後の経営環境の変化に対応した機動的な資本政策を遂行するため、自己株式600,000株（上限）を取得することといたしました。

また、当社は主力の臨床検査事業と調剤薬局事業が厳しい事業環境にある中、ICT事業及びゲノム事業を新たな収益基盤として確立し、事業構造の転換を進めておりますが、今後

も機動的で柔軟な資本政策を推進することにより、このような取り組みを加速させていきたいと考えております。

(以下、省略)

(訂正後)

2. スタンダード市場の選択理由

(1) プライム市場上場維持基準に抵触するリスク

①流通株式時価総額

当社は令和4年4月の東京証券取引所の市場区分の見直しにあたり、プライム市場を選択いたしました。その後、令和5年3月には株式会社ビー・エム・エルと資本業務提携契約を締結して、同社を処分先として自己株式 700,000 株を第三者割当により処分するなど、同社との資本業務提携関係の強化に取り組んでおります。また、本日公表いたしました「自己株式の取得に係る事項の決定に関するお知らせ」に記載のとおり、当社は株主還元の方針に基づき、より一層の株主還元を図るとともに、資本効率の向上、今後の経営環境の変化に対応した機動的な資本政策を遂行するため、自己株式 600,000 株（上限）を取得することといたしました。

当社は主力の臨床検査事業と調剤薬局事業が厳しい事業環境にある中、ICT 事業及びゲノム事業を新たな収益基盤として確立し、事業構造の転換を進めておりますが、今後も機動的で柔軟な資本政策を推進することにより、このような取り組みを加速させていきたいと考えております。

(以下、省略)

以 上